

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部  
SD 推進委員会  
2022 年度 年間活動報告書

2023 年 3 月 31 日

《SD 推進委員》

委員長	加島	勝一
委員	岩下	千恵子
委員	平田	博幸
委員	大泉	早智子
委員	内山	淳
委員	岡野	美幸
委員	清水	麻理子
委員	川又	彩夏

# 内容

1. はじめに .....	- 1 -
2. 2022 年度 事業報告 .....	- 3 -
集合型研修 .....	- 3 -
① FD・SD 合同研修会「経営改革計画・財務状況」 .....	- 3 -
② 私学共済制度について .....	- 3 -
③ 現在の就活市場 .....	- 3 -
④ 大学・私立大学が置かれている状況について .....	- 4 -
e-ラーニング研修 .....	- 4 -
① 情報セキュリティについて .....	- 4 -
② コーチングについて .....	- 5 -
部署内勉強会等 .....	- 5 -
その他 .....	- 6 -
① ハラスメント防止研修 .....	- 6 -
② 高崎健康福祉大学との情報交換会の実施 .....	- 6 -
3. 研修会アンケート集計 .....	- 6 -
集合型研修アンケート報告 .....	- 6 -
① 10 月 7 日開催「私学共済制度の概要」 .....	- 6 -
② 11 月 9 日開催「現在の就職市場について」 .....	- 7 -
③ 3 月 3 日開催「大学が置かれている状況について」 .....	- 8 -
オンデマンド研修(e-ラーニング)に関するアンケート報告 .....	- 9 -
次年度SDに向けたアンケート報告 .....	- 9 -
集計結果全体に対するコメント .....	- 10 -
4. まとめと次年度計画 .....	- 10 -
まとめ .....	- 10 -
次年度計画 .....	- 11 -
① 本学独自の SD 研修会の開催について .....	- 11 -
② 他大学との合同研修会の開催計画について .....	- 11 -

## 1. はじめに

高崎商科大学 SD 推進委員会(以下「本委員会」と言う)は、2015年4月1日に施行された「高崎商科大学 スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき組織されており、2022年度の構成員は各部署よりまんべんなく専任職員6名が選出されている。また2017年度よりSDに関する法令が制定されたことに伴い、昨年度に引き続き3名の専任教員(商学部 教授、特任准教授<sup>i</sup>、短大部 准教授)を構成員に加え、合計9名で活動を行っている。

同規程では、スタッフ・ディベロップメント(以下「SD」と言う)を「専任教育職員・事務職員を対象とした管理運営や教育・研究およびその支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組み」と定義されており、以下の3項目について計画的、継続的に今年度も企画・運営が行われている。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項

各回の委員会の開催時期と検討内容は以下の通りである。

### 第1回

2022年5月26日開催

内容

#### (1) SD 研修会の開催について

年間5回の研修会を企画・実施する方向で検討。ただし、対象者を限定した研修実施も想定できることから、各教職員が受講する研修会の数も考慮し、計画・実施することとなった。

#### (2) 研修内容の検討

各委員から提案された以下の研修内容について実施に向けた検討を行った。

- ① 職員採用試験事情について
- ② 情報分野の学びを理解するための研修<sup>ii</sup>
- ③ 若手職員を対象とした自分たちに与えられている制度の確認
- ④ 若手職員を対象とした大学・私立大学の置かれている状況の確認
- ⑤ 情報セキュリティについて
- ⑥ 働き方改革を実現する「タイムマネジメント」について<sup>iii</sup>
- ⑦ コーチングについて

#### (3) e-ラーニングを活用した研修について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外部研修への参加機会を確保するのが困難である点を踏まえ、昨年度に引き続きオンライン研修の活用を検討する方向となった。今年度は株式会社ビズアップ総研が提供する e-ラーニング「e-JINZAI」を活用した研修を検討する。

#### (4) 愛知東邦大学との人事交流について

2016年に締結した愛知東邦大学との「大学間連携に関する協定」に記載した SD・FD を含む人事交流及び合同研修を継続する。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み実施方法については先方との相談事項となった。

#### (5) 研修内容の公表について

各研修会実施後に大学公式ホームページに研修会の様子を公表する。年度末には SD 活動報告書を作成し、大学公式ホームページにて公表する。

### 第2回

2022年6月16日開催

内容

#### (1) SD 研修会の具体的内容とスケジュールについて

第1回委員会の検討をもとに、具体的な内容・実施形式・講師・実施時期を検討した。

#### (2) ビズアップ総研「e-ラーニング」の具体化について

第1回委員会の検討を踏まえ、7月より実施に向けた調整を行うこととなった。

(3) 愛知東邦大学との人事交流について

本来であれば、本学が愛知東邦大学に出向き職員研修を行う予定である。より実りのある研修にすべく、加島SD委員長と愛知東邦大学担当者と協議を行い、目的の明確化や実施方法を検討することとなった。

### 第3回

2022年9月21日開催

内容

(1) SD研修会の個別スケジュールについて

各研修会について、具体的な実施スケジュールの提案がなされ、実施日を確定した。

(2) ビズアップ総研「e-ラーニング」必須セミナーの提示について

職歴や役職を踏まえ、職員ごとに「e-ラーニング」の必須受講セミナーを提示し、セミナーの受講を促した。

(3) 高崎健康福祉大学の来学報告について

高崎健康福祉大学のSD関連職員が来学し、情報交換を実施。内容について共有がなされた。

### 第4回

2022年10月27日開催

内容

(1) SD研修会等のHPでの発信について

これまでSD研修会の内容はすべて大学HPに掲載していたが、内容によっては法人HPに掲載することとなった。

(2) SD研修会等実施後のアンケートについて

SD研修会の参加者アンケートについては、研修内容にあわせて質問項目を柔軟に対応しつつ、「基本属性」「業務への影響・貢献度」「研修時間」「講師の印象や満足度」の項目を用意する。

(3) 高崎健康福祉大学の来学報告について

高崎健康福祉大学のSD関連職員が来学し、情報交換を実施。内容について共有がなされた。

### 第5回

2022年12月22日開催

内容

(1) SD研修会「現在の就職市場」の実施報告について

11月9日に実施したSD研修会「現在の就職市場」について報告がなされた。

(2) SD研修会「大学が置かれている状況」(案)について

対面集合型研修を予定していたが、適切な講師が見つからない状態。e-ラーニングに含まれている研修を活用する方向で調整することとなった。

(3) e-ラーニングの受講進捗状況について

e-ラーニングの受講状況について共有がなされ、改めて受講を促すこととなった。

(4) 高崎健康福祉大学との合同研修会(案)について

高崎健康福祉大学との合同研修会に向けた提案がなされた。

### 第6回

2023年3月22日開催

内容

(1) 2022年度SD活動報告書の進捗状況について

3月末に発行し、本学HPで公表する。

(2) 2022年度の活動報告について

e-ラーニングの活用について次年度の活用における検討がなされた。

- 高崎健康福祉大学との共同 SD 研修会の開催に向けた進捗状況の共有がなされた。
- (3) 2023 年度への申し送り事項等について  
今年度の内容をもとに、次年度の計画を年度初頭に検討することとなった。

2022 年度に実施した学内 SD 研修等の詳細については「2. 2022 年度 事業報告」にて紹介する。また研修会開催終了毎に実施したアンケート調査の集計結果については「3. 研修会アンケート集計」にて紹介する。

## 2. 2022 年度 事業報告

2022 年度は年間を通して 4 回の集合型研修と 2 種類の e-ラーニングによる研修を実施した。新型コロナウイルス感染症収束が見通せないため、オンラインを活用し、要所を捉えた研修会を実施。大学職員としての視点を広げる研修や学生支援の際に必要な社会情勢の理解を深める研修を取り入れた。

以下に記載する研修は教育職員・事務職員を対象とした SD 研修会の他に、FD・SD 合同研修会についても記している。また、2.3 では本委員会による企画とは別に、部署やチームによる独自研修会についても報告する。

### 集合型研修<sup>iv</sup>

#### ① FD・SD 合同研修会「経営改革計画・財務状況」

実施日： 2022 年 9 月 7 日(水)13:00～14:00

参加者数： 受講者数 65 名(対象者数:65 名 受講者率 100%)

内訳： 高崎商科大学教員…26 名、高崎商科大短期大学部教員…7 名  
法人職員・高崎商科大学職員…32 名

講師： 総務課 課長 松田禎史、総務課 係長 内山 淳

内容： 教職員としての経営視点を身につけるべく、会計業務担当者より本学の経営状況の解説を行った。

#### ② 私学共済制度について

実施日： 2022 年 10 月 7 日(金)13:30～15:00

参加者数： 専任教職員受講者数： 23 名(対象者 67 名 受講者率 34.3%)

内訳： 高崎商科大学教員…0 名、高崎商科大短期大学部教員…0 名  
法人職員・高崎商科大学職員…23 名

講師： 日本私立学校振興・共済事業団 東京ガーデンパレス共済業務課  
山本讓史氏

内容： 福利厚生の一環でもある共済制度を理解することで、自身に与えられている補償や制度を活用するための基礎知識を身に付けるべく、日本私立学校振興・共済事業団 東京ガーデンパレス共済業務課 山本讓史氏より共済事業について解説をいただいた。



#### ③ 現在の就活市場

実施日： 2022 年 11 月 9 日(水)16:10～17:10

参加者数： 専任教職員受講者数： 42 名(対象者 67 名 受講者率 62.7%)

内訳： 高崎商科大学教員…12 名、高崎商科大短期大学部教員…6 名

法人職員・高崎商科大学職員…24名

講師：株式会社フレックス 中野貴史氏、根岸里紗氏

内容：就活市場は時代とともに変化している。現在の就職市場を知ることは、本学園の採用活動のみならず、学生指導においても必要なことと考え、就職支援企業である株式会社フレックス 中野貴史氏、根岸里紗氏より、新卒採用・中途採用市場や企業の事例についてご紹介いただいた。



#### ④ 大学・私立大学が置かれている状況について

実施日：2023年3月3日(金)9:30～11:30

参加者数：専任教職員受講者数：19名(対象者66名 受講者率28.8%)

内訳：高崎商科大学教員…1名、高崎商科大短期大学部教員…2名

法人職員・高崎商科大学職員…16名

内容：政策の動向を自ら把握し大学業務に活かすための必要な基礎知識を身に付ける機会としてe-JINZAIが提供するオンデマンド講義を参加者で視聴し、適宜グループワークを実施した。

## e-ラーニング研修<sup>v</sup>

新型コロナウイルスの影響により、以前のような集合型研修の開催が難しい状況であることを踏まえ、オンラインを活用しつつ、研修機会の確保に努めた。全専任職員を対象として、階級別に「情報セキュリティ」に関する講座(各人1テーマ)、「コーチング」に関する講座(各人1～2テーマ)を受講し、受講レポートを所属長とSD委員長に提出した(レポートの項目については下記の通り)。なお、各職員の受講タイトルはSD委員会が定めた。

### e-ラーニング受講後のレポートの項目(一部)

- どのようなことを期待してこの研修を受講しましたか？
- 研修を受けてどのような気づきや発見がありましたか？
- 研修で学んだ内容の中で、自身の業務にとって最も重要だと思ったことは何ですか？

#### ① 情報セキュリティについて

実施日：10月14日～12月28日の間に各自で受講日を定める

受講者数：受講者数:30名(対象者34名 受講者割合88.2%)<sup>vi</sup>

内容：現代社会において不可欠でありながら扱いに細心の注意が必要な「情報」について、企業の情報(営業秘密)と個人の情報を守るための知識とリスク回避のための予防策を学ぶ。

職員に定めた講座タイトルは以下の通り。

- 従業員に必要な情報セキュリティの基礎 対象者:新入職員
- 社内情報・営業秘密の保護 対象者:中堅職員
- 社内情報・営業秘密の管理 対象者:初級管理者
- 情報資産の把握と情報漏えいの危機管理 対象者:中級管理者
- 役員・取締役の役割と責任 対象者:役員・上級管理者

レポート：(一部抜粋)

- 営業秘密や個人情報の定義、管理方法などを具体的に知ることができて良かった。

- デジタルな仕組み以上にアナログな対応が重要であることを実感した。
- サイバー攻撃の巧妙さ、何かあった時の損害賠償請求の大きさに脅威を感じました。
- 自分で感じていたものよりずっと定義も広く具体例も多くわかりやすく受講できました。

## ② コーチングについて

実施日： 10月14日～12月28日の間に各自で受講日を定める

参加者数： 受講者数:30名(対象者34名 参加率88.2%)<sup>vii</sup>

内容： 本研修では、各々が持っている能力ややる気を引き出し、自分で考えて実行できるための考え方や部下や後輩の指導において「引き出す力」を学ぶ。

職員に定めた講座タイトルは以下の通り。

- 日々を意識して生きる 対象者:新入職員
- 目標をもつ 対象者:若手職員
- 理想の上司を考える 対象者:初級管理者
- 脱皮する 対象者:中堅職員
- 部下を知る 対象者:中級管理者
- チームの空気感をつくる 対象者:役員・上級管理者

レポート： (一部抜粋)

- 仕事に向き合う上で、新しい思考の作り方とチームでの成果を上げるためにどうしていけばいいのか気づくことができた。
- 部下への問いかけ(どう思う?どうしたい?)や管理職としての役割(空気を作る、その気にさせる)についての発見が多々あった。
- 現状打破するために、毎日やった事の無い事を一つチャレンジする事、ワクワクする方を選ぶ、を行動していきたいと感じました。

## 部署内勉強会等

課員自らが講師を担当することで、設定したテーマへの理解がより深まると考えているため、部署内勉強会の実施を推奨している。また、近年活発に開催されているオンラインセミナーについても積極的に活用している。

日 時	内 容	講 師	部署・対象
2022/5/26	日経 VS 基本操作編	日本経済新聞社 情報サービスユニット	図書館
2022/7/5	資産形成セミナー	プルデンシャル生命保険 池田様	学校法人の全教職員
2022/7/12	群馬県立図書館相互貸借業務とシステム操作について	群馬県立図書館 地域協力係	図書館
2022/7/16	学生の不安を解消できる就職活動支援とは?	ラーニングバリュー	キャリアサポート室
2022/7/29	新卒総括セミナー	リクルート	キャリアサポート室
2022/8/24	ハラスメント防止研修会	法人本部 森本	学校法人の全教職員
2022/8/26	私立大学就職担当者研修会		キャリアサポート室
2022/10/19	学校担当者向け障がい者就職支援セミナー	マイナビ	キャリアサポート室
2022/10/17～10/28	私大協大学経理部課長相当者研修会		総務課
2022/11/11	「大学設置基準等の改正」について	教務 G 宮寺	教務 G
2022/11/11	奨学金について	教務 G 須川	教務 G
2022/11/11	E2Survey の機能・活用方法について	教務 G 進藤	教務 G

日 時	内 容	講 師	部署・対象
2022/11/17	私大協就職部課長者相当研修会		キャリアサポート室
2022/11/18	卒業後調査結果活用事例紹介セミナー	リアセック	キャリアサポート室
2022/11/29	Amazon ビジネスアカウント活用事例紹介セミナー	国立大学法人鹿児島大学財務部経理課出納係様／国立大学法人神戸大学財務部経理調達課様	総務課
2022/12/23	三省合意改定後のキャリア形成を考えるセミナー	マイナビ	キャリアサポート室
2023/1/13	学校法人会計基準研修会		総務課
2023/3/23	図書館ガイダンスについて	図書館 高橋	図書館
2023/3/23	人事考課研修会	法人本部 森本	

## その他

SD 研修の企画・運営以外では、以下の項目について取り組みを実施した。

### ① ハラスメント防止研修

下記の通り学園主催のセミナーが開催され、SD 推進委員会としても参加を推奨した。

実施日：2022年8月24日(水)10:00～12:00

参加者数：41名

内訳：高崎商科大学教員…8名、高崎商科大短期大学部教員…1名

法人職員・高崎商科大学職員…13名、附属高校教職員…19名

講師：法人本部長 森本圭祐

内容：研修前半では群馬県私学振興会が配信している研修動画を視聴し、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、アカデミックハラスメント等、学校という現場で起こり得るさまざまなハラスメントの事例を交えながら、防止対策について確認した。研修後半では講師により本学規程に関する説明がなされた他、「ハラスメントと指導の境界線」等をテーマにグループ討議を実施した。

### ② 高崎健康福祉大学との情報交換会の実施

実施日：2022年9月16日(金)15:00～16:00

参加者数：高崎健康福祉大学職員…6名

高崎商科大学職員…8名

内容：高崎健康福祉大学 SD 関係者が来学し、SD 推進活動について情報交換をおこなった。その後、両大学の特徴と強みを活かした教職員の能力開発、教育・学術研究の質向上、地域貢献機能の強化を目指して包括協定を結ぶ運びとなり、両大学による合同 SD 研修会の実現に向けて検討を開始している。

なお、本交流会後、2023年2月17日には高崎健康福祉大学のSDワークショップの開催状況の視察を行った。

## 3. 研修会アンケート集計

今年度は各研修会開催終了後にアンケートを実施、満足度などを明らかにした。以下にアンケート質問内容と集計結果を報告する。なお、本稿では、アンケート項目の内一部を掲載する。

### 集合型研修アンケート報告

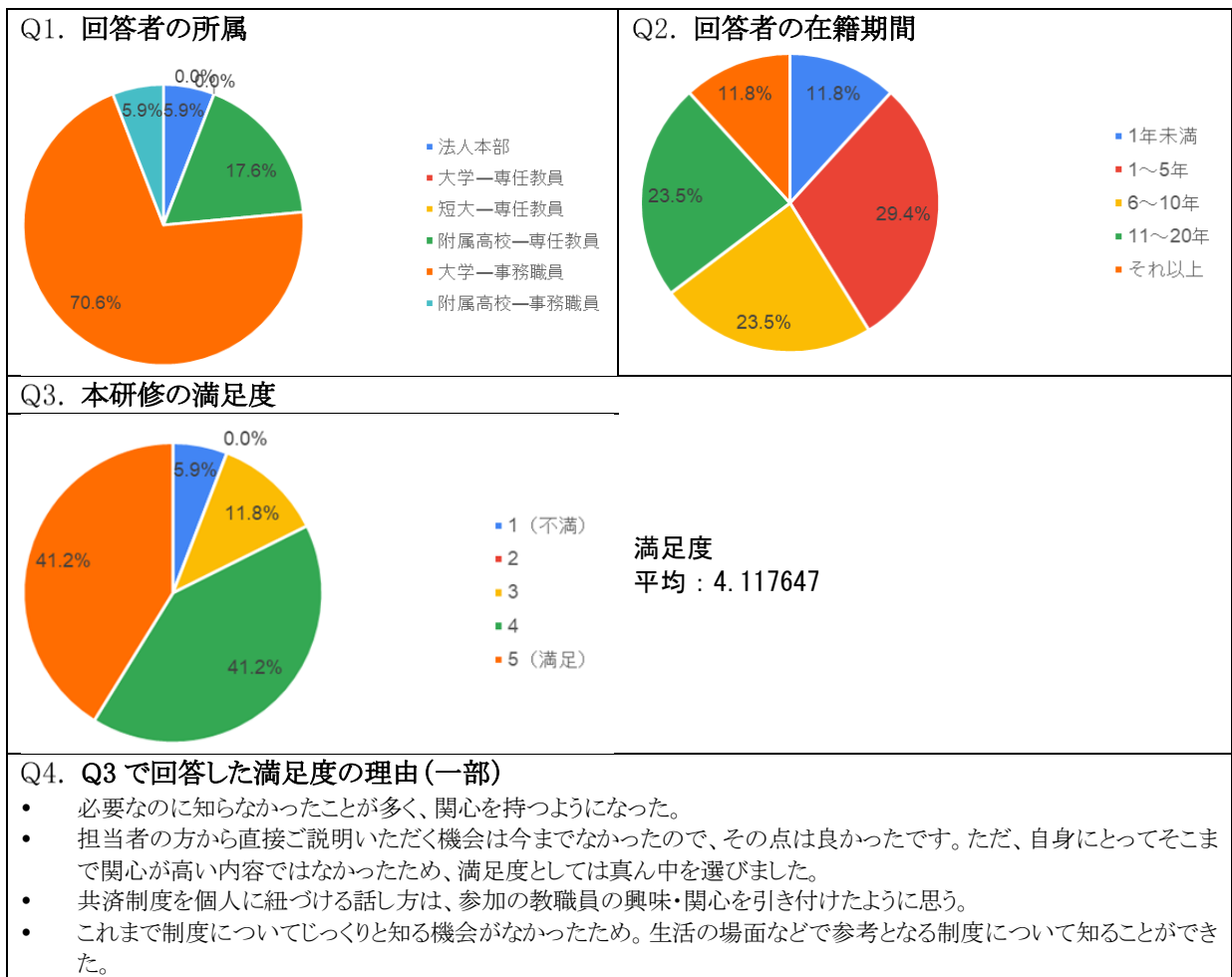
#### ① 10月7日開催「私学共済制度の概要」

対象者数 33名

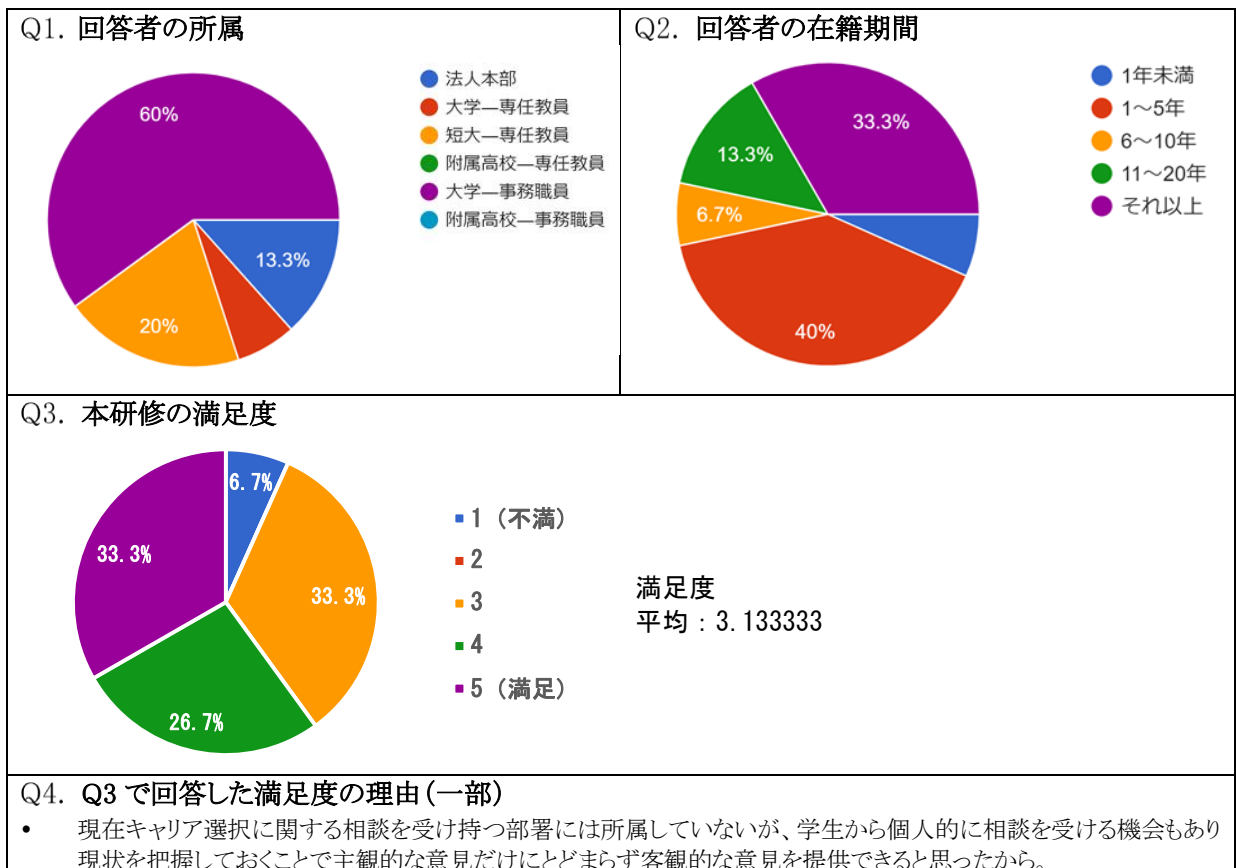
回答者数 17名

回答率 51.5%



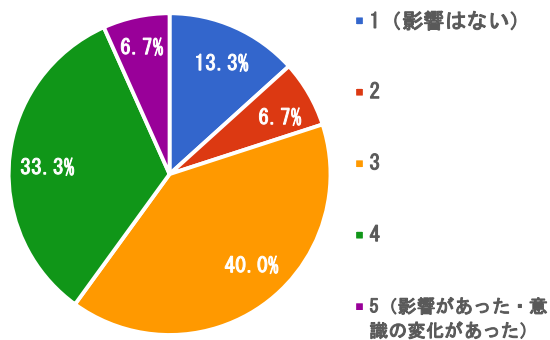


② 11月9日開催「現在の就職市場について」  
 対象者数 46名 回答者数 15名 回答率 33%



- 最新の就職活動事情に触れる機会があまりないため、研修内容自体が新鮮でした。
- 新聞記事等で知っている範疇の情報しか得られなかったため

Q5. 業務への向き合い方や意識の変化等の影響



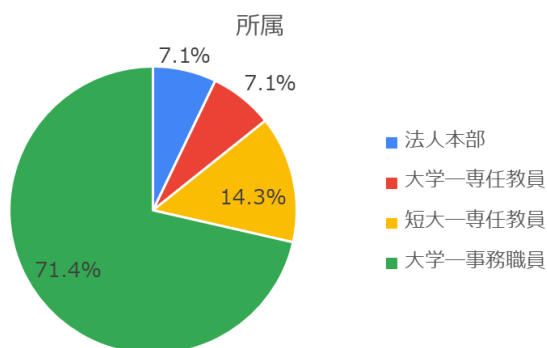
③ 3月3日開催「大学が置かれている状況について」

対象者数 19名

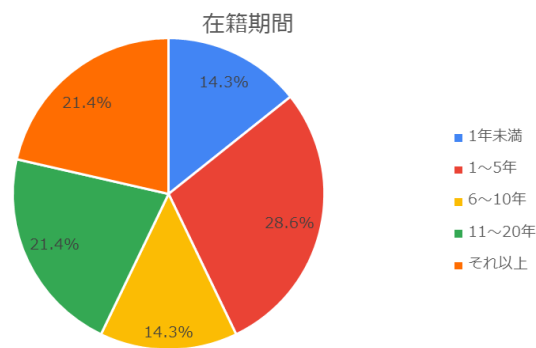
回答者数 14名

回答率 73.6%

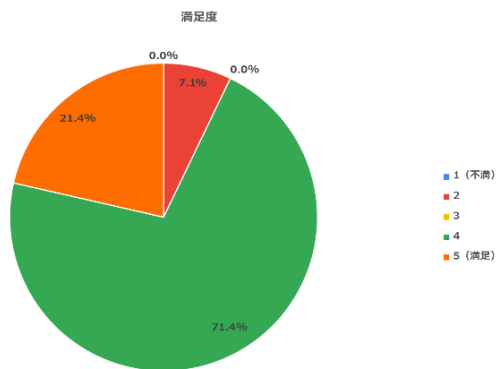
Q1. 回答者の所属



Q2. 回答者の在籍期間



Q3. 本研修の満足度



満足度  
平均 : 4.071429

Q4. Q3で回答した満足度の理由(一部)

- 正しいと思えないところがあったからです。
- 最新の高等教育政策の現状や動向について学ぶことが出来た。また教育政策が教職員の日常業務にどのように関わってくるのかなどについて学ぶことが出来た。
- 学校法人に関わる法律や政府の政策を意識した業務を心掛けるきっかけをいただいたため。

Q5. 業務への向き合い方や意識の変化等の影響

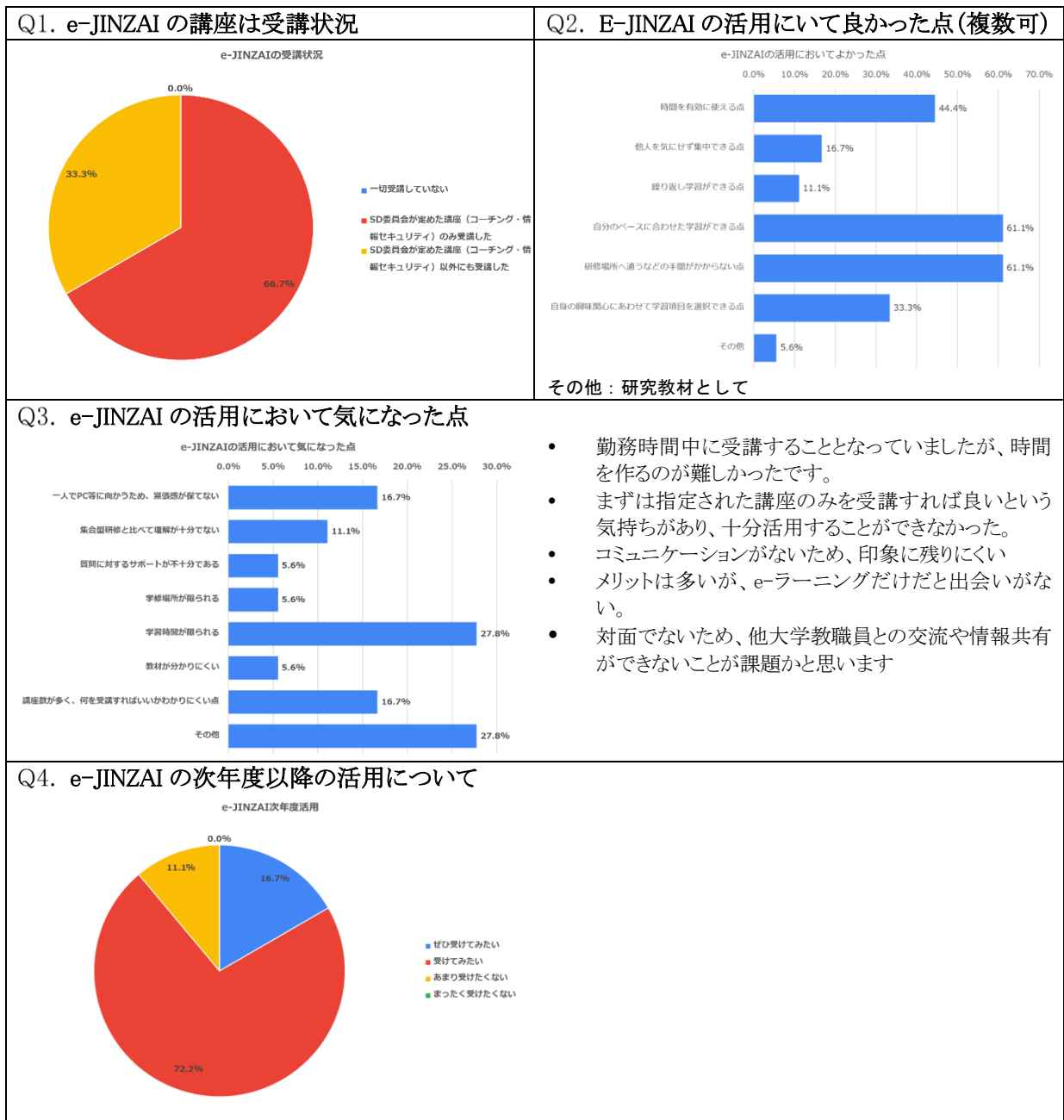


## オンデマンド研修（eラーニング）に関するアンケート報告<sup>viii</sup>

対象者数 34名

回答者数 18名

回答率 52.9%



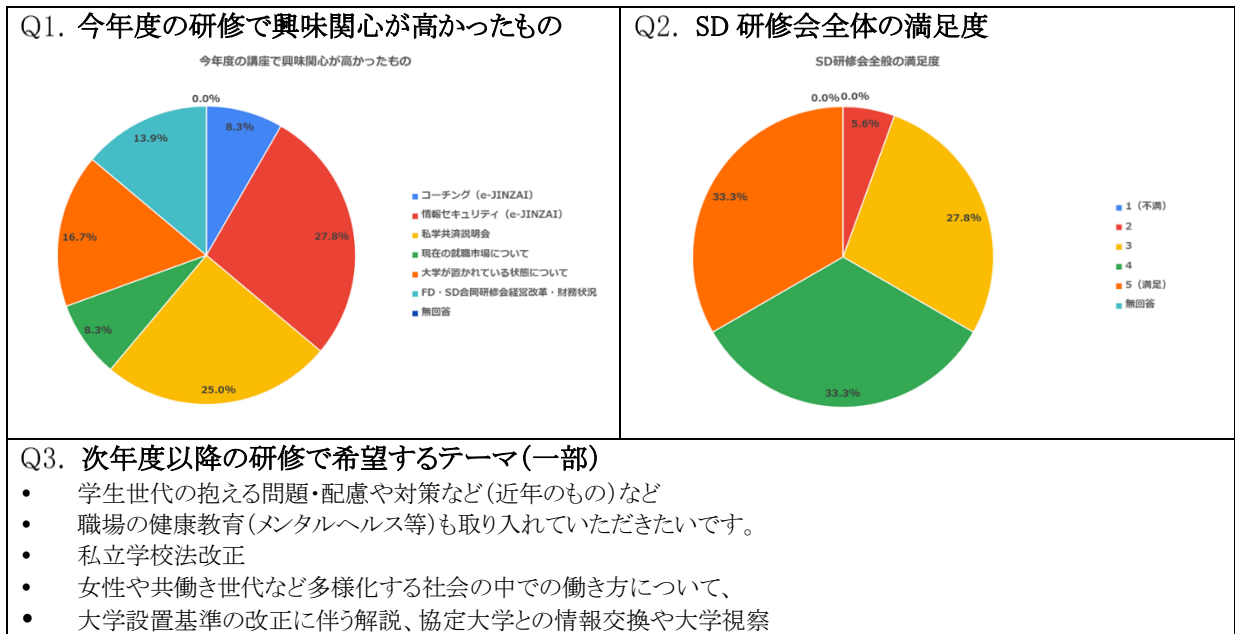
## 次年度SDに向けたアンケート報告<sup>ix</sup>

対象者数 34名

回答者数 18名

回答率 52.9%

52.9%



## 集計結果全体に対するコメント

2022年度の学内SD研修会は、集合型研修とeラーニング型の研修の2種類を開催した。

集合型研修の満足度は、各回6割以上(満足度4・5の合計)となり、一定の満足度を確認することができた。業務に紐づくテーマ(第2回現在の就職市場について、第3回大学が置かれている状況について)では、受講内容を踏まえ業務姿勢の変化を確認した。中でも第3回「大学が置かれている状況について」では、受講者の8割以上が日ごろの業務への向き合い方や意識に変化があったと回答し、研修会開催において一定の意義を得ることができたと考えられる。

今年度初めて導入したeラーニング型研修は72.2%が次年度も活用したいとする一方、受講のための時間確保や対面に比べて印象に残りにくいことなどが課題として明らかになった。本委員会が定めた講座以外にも自身の興味関心に併せて学習したなどの結果も寄せられたため、職員の学ぶ意欲向上につながった可能性も考えられる。

次年度以降の研修テーマとして、協定大学との情報交換や大学視察についても寄せられた。2022年度は高崎健康福祉大学との大学間包括連携協定を締結するに至り、次年度以降、教職員の能力開発、教育・学術研究の質向上などに向けた取り組みを本格化することとなる。職員間交流を通じた情報交換を実施することで自身の業務改善向上につなげたい。

## 4. まとめと次年度計画

### まとめ

本学SD研修会は「高崎商科大学スタッフ・ディベロップメント規程」に基づき、以下の3点を踏まえて構成されている。

- (1) 個人の能力向上に資する事項
- (2) 学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項
- (3) 教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項

中でも、「(1)個人の能力向上に資する事項」は主に、e-JINZAIを活用したeラーニング研修を通じて実施した。本委員会が定めた研修はもちろんのこと、自身の興味関心を踏まえた学ぶ機会を確保することで、各自が必要とする能力向上に努めることができたと考えられる。また、「(2)学内組織の業務改善、組織間の連携強化、知識共有に資する事項」については、各部署で必要に応じた研修会の開催やセミナーに参加することで、自身の業務に直結する能力向上だけでなく、その成果を部署内で共有することで、部署としてのスキル向上につなげることができた。「(3)教職協働を図る教育・研究およびその支援に資する事項」については、本委員会の構成員に教員を加えることにより、教員・事務職員の視点それぞれの視点を踏まえた研修内容を検討するに至った。特に、より質の高い学生支援に向けた社会事情の把握することを目的とした研修会(「現在の就職市場について」)は学生から相談を受ける教員にとっても学びの多い機会となった。

また、今年度は業務に直結するものではないが、本学で働く教職員が自身の福利厚生などを理解し、より豊かなライフワークバランスを送れるよう、私学共済制度に関する研修会を開催した。本年度のSD研修会の満足度アンケートによると、25%が興味関心を示しており、一定のニーズがあることが明らかになった。

## 次年度計画

### ① 本学独自のSD研修会の開催について

各研修会後のアンケートを通じて、集合型研修はeラーニングに比べて印象が残りやすいといった意見が寄せられた。研修会後にほかの受講者と意見を交わすことで新たな気づきを得ることができる。次年度以降もeラーニングを用いた研修を実施するが、研修のテーマなどによった使い分けを検討したい。

今年度の集合型研修は企画・運営の関係上、後期に集中しがちであった。次年度はよりまんべんなく研修会を実施することで、教職員の学ぶ意欲の向上にもつなげていきたい。

### ② 他大学との合同研修会の開催計画について

2022(令和4)年度は本学と高崎健康福祉大学との大学間包括連携協定を締結した。これを機に教職員合同研修会を開催し、両大学の取り組みを共有し、より充実した学生支援を目指す。まずは高崎健康福祉大学が開催しているワールドカフェ形式で実施する「SD ワークショップ」を参考とした両大学部署間交流会を検討している。他大学の取り組みや業務姿勢を身近に感じることで、自身の業務や意識を見直すことにつながると考える。なお、実施に向けた詳細は次年度の業務となる。

以上

---

<sup>i</sup> 2022年10月1日着任

<sup>ii</sup> 情報分野の学びを理解するための研修については、本学の学問分野展開に関連する内容であることからSD委員会としての開催を見送った。

<sup>iii</sup> 講師の選定が難航し、eラーニングでの実施を検討したものの、本委員会で当初検討していた内容のものがなく、開催を見送った

<sup>iv</sup> 本項の受講者数は専任教員・法人職員・大学短大専任事務職員を対象として標記する。

<sup>v</sup> 本項における受講者数は法人職員・大学短大専任事務職員を対象として標記する。

<sup>vi</sup> e-JINZAIのログインIDは職員とSD推進委員会所属教員に付与した。本アンケートは法人職員・大学短大職員に実施している。

<sup>vii</sup> e-JINZAIのログインIDは職員とSD推進委員会所属教員に付与した。本アンケートは法人職員・大学短大職員に実施している。

<sup>viii</sup> e-JINZAIのログインIDは職員とSD推進委員会所属教員に付与した。本アンケートは法人職員・大学短大職員に実施している。

<sup>ix</sup> SD研修会は教員の参加も促しているが、アンケートの回答が少なかったことを受け、法人職員・大学短大職員の回答を記載する。